

みねざき拓実の一般質問



青梅市民会館



永山ふれあいセンター



金の淵市民館



青梅市民センター

永山ふれあいセンターや金の淵市民館などの

「文化施設をなくさないで！」

4つの建物を集約化・複合化

青梅市民会館の建て替えについて質問しました。文化団体などから意見を聴取後、青梅市民会館、青梅市民センター、金の淵市民館、永山ふれあいセンターの各種機能を集約化・複合化した、新たな生涯学習施設を現在の青梅市民会館の場所に建設することとし、予定では平成30年度の終わりに完成するというものです。私は始めにどれくらいの文化団体があるのかと尋ねたところ、青梅市の文化団体連盟には民舞踊連盟（28団体）や合唱連盟（24団体）など22種類の文化団体が加盟していると答えました。これだけでも165団体になり、それ以外にも多数あります。私は多くの利用者がいる中、永山ふれあいセンターや金の淵市民館を閉鎖するのではなく、地域で文化活動ができるようにする必要があるのではないかと主張しました。

私の質問に対し教育長は金の淵市民館と永山ふれあいセンターについては今後利用計画を検討していくと答えました。私はこれらの施設が今後も利用できるように求めています。

児童館の併設を！

また、建て替えの際に児童館を入れた複合施設にしてはどうかと質問しましたが、既存施設を使用して児童館の果たすべき機能を持たせており、子育て環境の充実が図られていると認識しているので児童館の建設の考えはないという従来と全く変わらない答弁でした。

マイナンバー制度（個人番号カードの申請は任意です）

今年1月からマイナンバー制度の運用が開始されました。一方で、全国各地でトラブルが報告されており、不安を感じている市民も多くいます。この制度は税金や社会保険料などの徴収強化と社会保障などの給付抑制を狙うものである上に、ひとたび流出すればはかり知れない被害を招く致命的欠陥制度です。マイナンバー制度自体には反対ですが少しでも市民の利益を守る立場での考え方と対応について伺いました。これから市役所で各種申請時にマイナンバーの記載が求められますが、申請書にマイナンバーの記載がなくても申請を受理するとの答弁でした。

プロフィール

1975年生まれ。青梅三小・三中・青山学院大学卒業。元清瀬・久留米民主商工会事務局長。2011年宮城県石巻市で震災復興ボランティア現地スタッフ。野上町2丁目住。趣味：将棋
2015年青梅市議会議員選挙初当選。

なんでも
生活相談
070-5590-6081

市議会議員にさせて頂き1年が経ちました

予算を審査する議会もようやく終わり、市議会議員にさせて頂き1年が経とうとしています。この1年を振り返って、人生で初めて議会というところの仕事で分からぬことがたくさんある中、それでも他の議員と対等なので懸命に勉強して積極的に質問するよう心がけてきました。これからもまだまだ勉強しなければならないことは山のようにあるし、つどいや訪問などでもっと皆さんの声を聞かなければならぬと痛感しています。小中学校の入学式や卒業式、支会の総会など来賓として出席することも多くあります。青梅市を良くしたい、困っている人を応援したい、そして市民が生きがいをもって暮らして行けるように頑張りますので、この仕事に誇りをもって取り組んでいきたいと思います。一人の議員が活動できる量は限りがありますが、力の及ぶ限り頑張ってまいりますので、引き続き市民の皆さんのご支援をお願いします。

ポールの設置

地域住民の要望
が実現しました



道路の隅が30センチくらいの段差になっていたので（写真左）市に要望して赤いポールを設置してもらいました。（写真右）場所は富岡2-672-4付近

木柵の補修

地域住民の要望
が実現しました



市の土地を囲っている木柵が腐食して倒れていたので（写真左）市に要望して新しい木柵に交換してもらいました。（写真右）場所は野上町1-148-4付近

2016年 2月定例議会

青梅市議会2月定例議会は3月23日に閉会しました。新年度一般会計予算（494億円）は、賛成多数で可決されました。日本共産党青梅市議団は子育て支援、まちづくりなどの問題点を指摘し、藤野ひろえ議員が代表して意見を述べました。反対討論の概要をお知らせします。

子育て支援— 教育費の負担を軽く！

市の調査でも「子育て・教育にお金がかかりすぎる」が大多数です。小学生の通学費補助は新年度は国が補助金をカットしたにもかかわらず市の予算で制度を継続したことは評価します。しかし、中学生にはいまだ実施されていません。中学生にも通学費補助と中学3年生の修学旅行への助成を求めました。

保育園待機児解消を！

市の第1次選考では61名の待機児が出来ました。新年度3園が増改築で25名の定員増や、小規模保育（0～2才）等の拡充はあるとはいえ、5歳まで安心して保育が受けられるためには認可保育園の整備の促進と保育士の待遇改善が重要です。



学童保育も200人以上の待機児質・量の拡充を！

党市議団は学童保育の抜本的拡充を求めてきました。藤橋小学校に新しく学童クラブや空き店舗・民間事業者による整備が行われます。夏休みの臨時学童クラブが東部地域に1カ所増設されます。それでも200名以上の待機児がいます。子どもたちが安心して放課後を過ごすために、質も量も拡充が必要です。

子どもの居場所— 児童館を青梅にも！

青梅市の図書館が指定管理者になると同時に、東青梅市民センターと河辺市民センターの図書館が閉館されてしましました。その空きスペースに子育て広場が整備されることになりましたが、子どもたちが自由に活発に過ごせるか疑問です。26市の中で児童館がないのは青梅市だけです。児童館の設置を求めました。

まちづくり—青梅インター 北側の開発中止を！

都市農業振興基本法が昨年度制定されました。49ヘクタールの都内最大級の農地をつぶすことは問題です。土地所有者の高齢化、後継者不足などもありますが、市が都市農業を守り発展させる方向で政策転換を求めました。巨額の税金を使い、見通しのない物流拠点整備計画は中止すべきです。



新たな幹線道路より 生活道路の整備を！

3億2千万円の予算が計上され、根ヶ布長淵線などの整備予算も含まれています。暮らしが大変な時に不要不急の幹線道路の整備はやめ、住民要望の多い身近な生活道路の補修・改善を促進するよう求めました。

コミュニティバス・ デマンドタクシーを一日も早く！

市民の願いにこたえ、一日も早くコミュニティバス・デマンドタクシーを青梅にも走らせるように求めました。市は都バス・西東京バスの赤字補填をしていますが、買い物難民の解消や、通院・外出支援が遅れています。



議員のボーナスまた値上げ 市民の暮らし・福祉こそ拡充を！

議員の期末手当（ボーナス）の引き上げ分として24人で154万円と、新たに議員の人間ドック代1人1万5千円、24人分で36万円、合計190万円が予算化されています。市民には国保の値上げや検診の有料化を押し付けているだけに、こうした予算は適切でないと主張しました。